

## 作成上の留意事項

所定の様式を用い、様式の改変はしないで下さい。

### ○様式 1（研究課題総括表）

A 4 用紙 1 枚で記載して下さい。

#### 1. 「受付番号」について

応募書類を受理した際に記載する欄であり、空欄として下さい。

#### 2. 「提案区分」について

以下の表を参考とし、該当する区分番号と区分名を記載して下さい。さらに、研究領域設定型研究及び緊急課題即応型調査研究に応募する場合にあっては領域番号を記載して下さい。領域番号については、2007 年度の研究領域決定時（1 月上旬までの予定）にホームページ等で発表しますので確認して記載して下さい。

区分番号	区 分 名	領域番号
1	全国領域設定型研究 一般型	研究領域決定時に提示
2	全国領域設定型研究 リスク管理型	研究領域決定時に提示
3	全国領域設定型研究 輸出促進・食品産業海外展開型	研究領域設定時に提示
4	地方領域設定型研究	研究領域決定時に提示
5	地域競争型研究	空欄とする
6	広域ニーズ・シーズ対応型研究	空欄とする
7	現場連携支援実用化促進型研究	空欄とする
8	府省連携型研究	空欄とする
9	緊急課題即応型調査研究	研究対象設定時に提示

注：緊急課題即応型調査研究等年度途中採択に向けた公募については、別途ホームページ等でお知らせします。

また、地域活性化型研究（区分番号 5～7）及び府省連携型研究への応募であって、研究総括者が若手研究者（2007 年 4 月 1 日現在、40 歳未満）の場合は「若手研究者」の欄に○をつけて下さい。

#### 3. 「提案分野」について

別紙を参考にし、農業、畜産業、林業、水産業のいずれかを記載して下さい。

#### 4. 「課題名」について

30 文字以内厳守として下さい。

なお、課題名については、原則として研究期間終了時まで変更できないことに留意して下さい。

#### 5. 「研究概要」について

200 文字以内厳守で記載して下さい。なお、審査にあたってこのまま使用するの、正確に記載して下さい。

#### 6. 「キーワード」について

別紙を参考にし、応募提案の研究対象・内容に最も該当するキーワード名とその分類番号

を、研究対象は必ず1つのみ、研究内容・手法は、当てはまる順に1つ以上3つ以内で記載して下さい。キーワード名は中分類、小分類いずれのものでも構いません。境界分野の研究テーマ等の場合には、上記3の「提案分野」とキーワード表の「分野」が必ずしも一致しなくてもかまいません。また、該当するものがない場合は、独自のキーワードを記載して下さい。ただし、独自キーワードに最も近いと思われる分類番号を必ず記載して下さい。

#### 7. 「期別達成目標における位置づけ」について

「地域競争型研究」、「広域ニーズ・シーズ対応型研究」、「現場連携支援実用化促進型研究」、「府省連携型研究」に応募する場合は記入することとし、該当する大項目（かっこ書き番号）、中項目（片かっこ書きの番号）、事項（アルファベット大文字）及び研究の細目（アルファベット小文字）を記載して下さい。

（農林水産研究基本計画における期別達成目標については、農林水産技術会議HPを参照して下さい。URL [http://www.s.affrc.go.jp/docs/news/koubo/high\\_h19.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/news/koubo/high_h19.htm)）

#### 8. 「行政施策等との関係」について

「関係する行政施策等の名称」の欄には、以下に当てはまる場合、各項目のかっこ内に○を付して下さい。

- ①地域活性化型研究及び府省連携型研究への応募であって、新需要創造対策と関連を予定する研究課題である場合。
- ②地域活性化型研究及び府省連携型研究への応募であって、食料産業クラスターモデル地区に関連する研究課題である場合。
- ③地域活性化型研究及び府省連携型研究への応募であって、地方ブロックにおける地方農政局、(独)農業・食品産業技術総合研究機構の地域農業研究センター等の産学官連携推進の取組と関連する研究課題である場合。
- ④地域活性化型研究のうち現場連携支援実用化促進型研究への応募であって、地方公共団体が作成する地域再生計画と関連する研究課題である場合。
- ⑤地域活性化型研究及び府省連携型研究への応募であって、上記①～④以外のその他の行政施策に関連する研究課題である場合。

また、「具体的な計画等の名称」の欄には、上記①及び④に○を付したものにあってはその計画の名称（仮称でも可）、上記②に○を付したものにあっては、モデル地区（クラスター）の名称、上記③に○を付したものにあっては地方農政局、地域農業研究センターの名称や産学官連携推進の取組計画の名称、上記⑤に○を付したものにあっては行政施策名（具体的な方針名）を記載して下さい。

#### 9. 「研究総括者」について

生年月日は西暦によることとし、2007年4月1日現在の年齢を記載して下さい。

#### 10. 「共同機関」について

共同機関名を

- ①都道府県、市町村、公立試験研究機関
- ②大学、大学共同利用機関
- ③独立行政法人、特殊法人、認可法人
- ④民間企業、公益法人、NPO法人、協同組合、農林漁業者

のセクター別に契約単位で記載して下さい。都道府県、大学、独立行政法人等の大組織の場合であって、個別の試験研究所や学部等が契約単位とならない場合には（ ）書きで試験研究所等名を記入してください。個別の試験研究所や学部のレベルで契約行為を行うことが可能かどうかは各機関の事務担当者に予め確認して下さい。

また、輸出促進・食品産業海外展開型については民間企業（協同組合を含む）、現場連携支援実用化促進型研究についてはコーディネート機関が必ず参画（コーディネート機関の前

に◎を付す) する研究体制として下さい。

(記入例)		
共同機関	1 公立	<p>※県が契約単位となる場合は、試験場名を括弧書きする。 ○○県 (○○県××試験場・○○県××センター)</p> <p>※個別試験場で契約可能な場合 ○○県××試験場、○○県××センター</p>
	2 大学	<p>※大学が契約単位となる場合は、学部名を括弧書きする。 ○○大学 (農学部、工学部、××センター)</p> <p>※学部で契約可能な場合 ○○大学農学部、○○大学工学部</p>
	3 独法	(独) ○○機構 (○○農業研究センター、○○研究所)
	4 民間	<p>○○○○株式会社、◎N P O法人○○会</p> <p>※農林漁業者の場合 畜産業 ○○太郎、農業 ○○栽培研究会</p>

### ○様式 2 (研究課題概要図)

A 4用紙 1 枚で作成し、必要に応じて用紙を横長に使用してもかまいません。

研究計画及び研究体制のイメージ、中課題間の関係等について、図表、ポンチ絵を用いて作成すること。また、白黒で印刷して提出して下さい。(課題評価には白黒で印刷したものを使用)

### ○様式 3 (研究課題内容)

#### 1. 「研究目的」について

##### (1) 科学的・技術的観点からの研究目的

提案する研究の独創性、新規性、革新性、先導性が分かるような研究目的について記載して下さい。

(記入例)

○○の問題については、現在○○、○○等の取組がなされているが、○○、○○等の理由により○○には至っていない。このため、○○を活用した○○技術を開発する。  
この技術は、これまでにない○○を活用した技術であるとともに、既存の○○技術よりも○○の点で優れていることから、○○の問題解決に資することが期待される。

##### (2) 社会的・経済的観点からの研究目的

社会的背景を踏まえた研究目的について記載して下さい。その際、①農林水産省等が実施

する取組への貢献、②生産者、流通・加工業者、消費者等が求めるニーズへの対応のそれぞれの視点から、重要性及び緊急性が分かるような記載として下さい。

(記入例)

近年、〇〇については、〇〇等から〇〇等の問題が生じている。現在〇〇、〇〇等の取組がなされているが、〇〇、〇〇等の理由により〇〇には至っていない。このため、〇〇を活用した〇〇技術を開発し、〇〇体系を確立する。

・農林水産省等が実施する取組への貢献の視点からの重要性・緊急性

〇〇において、〇〇年〇〇月に〇〇に係る指針が定められ、ここでは〇〇に係る課題解決に向けた積極的な取組を緊急に行う旨が定められている。今回開発を目指す〇〇を活用した〇〇技術は、この取組に大きく貢献しうる重要な技術である。

・生産者、流通・加工業者、消費者等が求めるニーズへの対応の視点からの重要性・緊急性

特に〇〇の地域では、〇〇の問題が深刻化しており、その被害は毎年増加し〇〇にまで及んでいることから、当該地域の〇〇生産者からは、〇〇に係る課題の解決のための〇〇の取組や〇〇技術の開発を緊急に求められている状況である。このため、〇〇を活用した〇〇技術を緊急に開発し、〇〇体系を確立することにより、求められている課題の解決を図る必要がある。

## 2. 「事業の趣旨及び行政施策等との関係について」について

(1) 研究領域との関係について（研究領域設定型研究及び緊急課題即応型調査研究の場合必ず記載）

・対応する研究領域名：研究領域設定型研究における研究領域（1月上旬までに公表予定）及び緊急課題即応型調査研究における緊急調査研究対象（必要に応じて随時公表）の名称を記載。

・研究領域との関係

上記研究領域等との関係について記載して下さい。

(研究領域との関係の記入例)

本研究は、〇〇技術の開発による〇〇の効果により、上記研究領域における〇〇の問題解決に貢献するものである。

(2) 農林水産研究基本計画の目標達成への貢献（地域活性化型研究及び府省連携型研究の場合必ず記載）

農林水産研究基本計画の付表「期別達成目標」（別添）の項目、名称及び目標達成への貢献について記載して下さい。期別達成目標達成への貢献については、当該計画の研究開発の目標が達成されれば、期別達成目標の推進を図る上でどのように貢献するのかを記入して下さい。

(記入例)

・本研究が貢献する期別達成目標の項目の番号及び名称：

(1) - 1) - A - a 「最適耕起・播種技術の開発による水田輪作システムの確立」

・期別達成目標達成への貢献

本研究における技術の開発により労働時間が〇割短縮でき、〇〇の被害を回避できる

ことから、上記項目の〇〇安定生産支援システムの開発の推進に貢献するものである。

(3) その他行政施策等との関係について

① 予定している新需要創造計画の概要及び研究の位置づけ（地域活性化型研究及び府省連携型研究の場合、任意に記載）

予定している計画名、計画概要及び研究の位置づけについて記載して下さい。

(記入例)

・計画の名称：〇〇計画

・計画の概要

(独) 〇〇研究所、〇〇(株)、及び産地である〇〇市等のマッチングにより、新食品・新素材である〇〇を活用した新需要創造に取り組む。具体的には(独) 〇〇研究所は研究成果である〇〇に係る技術の提供、〇〇(株)は〇〇に関する実用化研究、産地〇〇市は〇〇に必要な原料の生産・供給に取り組む。

・計画における研究の位置づけ

計画では、〇〇(株)が〇〇に関する実用化研究に取り組むことを明記する予定であり、本研究はこの取組の一環として実施するものである。

② 食料産業クラスターモデル地区の取組の概要及び研究の位置づけ（地域活性化型研究及び府省連携型研究の場合、任意に記載）

食料産業クラスターモデル地区名（クラスター名）、取組の概要及び研究の位置づけについて記載して下さい。

(記入例)

・モデル地区の名称（クラスターの名称）：〇〇県〇〇町〇〇地区（〇〇クラスター）

・モデル地区における取組の概要

クラスターの構成機関である〇〇大学、〇〇(株)、〇〇市、〇〇農協等が連携し、〇〇ブランドの確立、〇〇の生産拡大、〇〇の高付加価値化製品・新製品の開発に取り組む。

・取組における研究の位置づけ

取組の目標である〇〇の商品化・ブランド化に向けては〇〇が問題になっているところである。本研究における〇〇に係る〇〇技術の開発はその問題解決に資するものである。

③ 地方ブロックにおける産学官連携推進上の位置づけ（地域活性化型研究及び府省連携型研究の場合、任意に記載）

研究計画策定に当たって、地方ブロックにおける地方農政局、地域農業研究センター等の産学官連携推進の取組との関係について記載して下さい。

(記入例)

本計画の立案に当たっては、〇〇農政局及び〇〇農業研究センターと調整し、参画機関の選定等を行った。また、〇〇農業研究センターは共同機関としても本計画に参画し、大学、民間企業等の連携推進を図るためのコーディネートを担当することとしている。

④地域再生計画の概要及び研究の位置づけ（地域活性化型研究のうち現場連携支援実用化促進型研究の場合、任意に記載）

本研究課題を位置づける地域再生計画に関して、各項目に係る具体的内容を記載するとともに、参考となる資料があれば、添付してください。

計画の目標については、地域における社会的・経済的ニーズや解決すべき課題等について記載し、地域再生の定量的目標を設定して下さい。

計画における研究の位置づけについては、本研究課題の実施から地域再生の目標達成までの具体的経路について記載して下さい。

(記入例)

・計画の名称、作成主体及び計画の区域：「〇〇計画」、〇〇県、〇〇県内〇〇地域

・計画の目標

〇〇県〇〇地域では、現在〇〇の〇〇の課題があることから、〇〇技術の開発、〇〇、〇〇等の取組を行い、〇〇を平成〇〇年度までに〇〇まで上げることを目標とする。

・計画における研究の位置づけ

本研究による〇〇技術の開発により、〇〇の問題が解消され、計画の目標達成につながる。

⑤その他行政施策との関係について（地域活性化型研究及び府省連携型研究の場合、任意に記載）

①～④以外の行政施策との関係について、施策の名称及び研究の位置づけについて記載して下さい。

3. 「既往の成果」について

(1) 成果の概要

研究に参画する研究機関においてこれまでに得られた既往成果を記載し、7の(1)「技術開発の目標」を達成する上で、現状では研究がどの段階まで進んでいるのかを明確に示して下さい。

地域競争型研究については、地域固有の特産作物等地域資源又は地域の技術シーズ、現場連携支援実用化促進型研究については、地方大学をはじめとする生産現場周辺の研究機関等の技術シーズ、府省連携型研究については、他省庁の事業の成果の活用（研究成果の概要と本研究での発展・展開内容）又は他分野の技術シーズをそれぞれ必ず記載して下さい

(記入例)

～～を応用して△△を解決するためには××や××に関する知見と××に関する技術開発が必要となるが、本グループでは今までに◇◇法の改良に取り組み、これを応用して××解明の基礎となる〇〇及び〇〇を明らかにするとともに〇〇の技術を既に開発し

ている。  
この結果を～～に用いることで～～の開発が可能であり、△△解決に不可欠な××が可能となる。

(2) 成果を上げた研究課題の概要（府省連携型研究の場合必ず記載。それ以外においては他府省を含む他の競争的資金の成果である場合、任意に記載）

(記入例)  
 ・研究制度名：○○事業（○○省）  
 ・研究課題名：「○○技術の開発」  
 ・研究実施期間：平成16年度～18年度  
 ・研究費総額：30,000千円

(3) 先行特許等

本研究と関連する特許権等を既に出願または取得している場合、その概要（発明（考案）の名称、出願番号、出願日、出願人（共同出願人）等）を記載して下さい。

#### 4. 「研究計画・方法」について

(1) 研究課題の構成

研究課題の最小単位（中課題又は小課題）における研究期間を矢印を用いて図示し、矢印の上には当該研究項目の具体的な研究内容及び担当する研究機関を記入（研究機関は（）書き、複数ある場合はすべての機関を記入、略称可）して下さい。

また、表の一番下の部分に所要経費（千円単位）を記入して下さい。所要経費の額は「6. 研究費の見込額の一覧」に記載された経費の合計額として下さい。

(記入例)

研究項目	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度
(1) ○○における△△の確立		○○の分析 (○○大学、○○県試験場)			
① ○○の解析	←		○○の検討		
② ○○の開発			←((独)○○研究所、○○(株))→		
所要経費（合計）	千円	千円	千円	千円	千円

[計画が3年を越える理由]

(研究計画が4年以上のものは必ず記入)

研究計画が3年を越える場合は、研究対象の性格上3年では終了し得ないなど、その具体的な理由を明確に記載して下さい。

(2) 研究内容

研究課題を細分化した中課題毎に、又は中課題を更に細分化した小課題毎に具体的な研究内容、手法、初年度における研究目標、研究終了時の研究目標を記載して下さい。また、課題間の関係についても記載して下さい。

中課題順に1)、2)、・・・、小課題順に①、②、・・・と番号を付して下さい。  
（「1. 研究目的」及び「7. 目標とする成果」に対応した内容となるよう留意し、かつ「6. 研究費の見込額一覧」で要求している内容が読み取れるような内容として下さい。）

（記入例）

1) ○○○における△△の確立

① ○○の解析

これまで、～に対し～に関する～がなかったため、新たに～についての手法を開発し、～法に基づき～の解析を行う。これにより、～を明らかにする。

まず、初年度においては、～を確立し、～を目標とする。

最終的には、～の解析結果を用いて～を明らかにする。

② ○○の開発

## 5. 「共同研究体制」について

### (1) 研究グループとしてのこれまでの活動状況

研究課題を応募するにあたって、研究グループとしてのこれまでの活動状況（地域における産学官連携に関する研究会、検討会への参画、他機関との連携の取組等）について簡潔に記載して下さい。

### (2) 参画機関の役割分担

「3. 既往の成果」及び本研究課題に参画する各研究機関の研究ポテンシャル（現場連携支援実用化促進型研究については、コーディネート機関の実績等を含む）を踏まえ、当該研究課題においての共同研究を実施する必要性、各参画機関の役割分担、責任体制を記載して下さい。記載にあたっては、共同研究体制の効率性、効果が判断できる内容として下さい。

リスク管理型については行政との連携体制、広域ニーズ・シーズ対応型研究については複数地域の研究者間の共同研究体制（オープンラボに結集等）、現場連携支援実用化促進型研究については、コーディネート機関の参画のあり方やコーディネート機能の発揮手法についても記載して下さい。また、輸出促進・食品産業海外展開型にあつては、民間企業が実用化部分を担う研究体制として下さい。

研究期間を4～5年としたものについては、その理由についても記載して下さい。

（記入例）

○○がこれまで蓄積してきた～～という技術シーズを基に、（△△のオープンラボを活用し、）～～に関する高い知見（ノウハウ・研究蓄積）を有する△△が～～を分担し、～～に関する高い知見（ノウハウ・研究蓄積）を有する□□が～～を分担することにより、～～と～～に関する研究の加速化を図り、効率的かつ効果的な試験研究を実施する。

### (3) 機関概要

本研究課題に参画する中核機関及びすべての共同機関について、記入例を参考に、契約単位で記載して下さい。

各項目には応募時点のものを記入することとしますが、今後の機関名の変更や市町村合併等による所在地の変更、代表者の変更等が既に決まっているものがあれば、その変更時期及び内容を明記して下さい。

また、電話番号、FAX 番号及び E-mail アドレスは半角文字で記載して下さい。

#### 1) 中核機関名及び共同機関名について

都道府県、大学、独立行政法人等の大組織の場合で、個別の試験研究所や大学院研究科等が契約単位とならない場合には（）書きで試験研究所等名を記入して下さい。個別の試験研究所や大学院研究科等を契約単位として、契約行為を行うことが可能かどうかは各機関の事務担当者に予め確認しておいて下さい。

2) 経理事務担当者について

都道府県が中核機関となる場合は、予算措置が可能であり、委託契約の締結が年度当初から可能である旨明記するとともに、担当者の確認印を押印して下さい。

3) 代表者名及び所在地について

機関名の契約単位と対応させて下さい。

4) 業務概要について

本研究課題を実施するにあたってのこれまでの実績、研究施設の整備状況等、本研究課題を実施する機関として適切であるかが判断できる内容として下さい。

5) 資本金について

民間企業、農業法人及び公益法人のみ記入し、公益法人にあつては、基本財産を記入して下さい。

6) 従業員数については、民間企業、農業法人のみ記入して下さい。

(記入例)

中核機関名 共同機関名	〇〇県（農業試験場・畜産試験場） 〇〇大学（農学部、工学部、〇〇研究センター） （独）〇〇機構（〇〇農業研究センター、〇〇研究所）
代表者名	〇〇県知事 〇〇 〇〇
経理事務担当者	氏名：〇〇 所属部署：〇〇部〇〇課長 勤務先：〒123-5678 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 電話番号：012-345-7777 Fax 番号：012-345-8888 E-mail アドレス：abc@defg.co.jp
所在地	〒123-4567 住所 〇〇県〇〇市〇〇1 2 3-4 電話番号：012-345-6666
業務概要	〇〇研究所は、〇〇を目的として〇〇の研究を実施している機関であり、〇〇等の研究施設を有している。当研究所では、これまで、〇〇研究について〇〇など多くの知見が蓄積されている。

資本金		従業員数	
-----	--	------	--

(4) 研究分担者一覧

研究項目には中課題及び小課題名を記載し、研究分担者の氏名及び所属等を記載して下さい。その際、研究総括者には◎、中課題責任者には○、小課題責任者には△を氏名の前に記載して下さい。研究計画の遂行に関し名目的に名前を連ねるなど、実質的な責任を負わない者は、研究分担者として加えることができないので注意して下さい。

エフォート（研究専従率）は、当該研究者の全仕事時間に占める本研究課題に充てる時間の割合（小数点以下を四捨五入した整数値）を以下の例のとおり記入して下さい。一人の研究者が複数の研究項目を担当する場合は、最初に記載する箇所に数値を記載しその後は「前出」として下さい。

(記入例)			
研究項目	氏名	所属機関・部署・役職名	功Ⓕ(%)
研究総括者	◎ 農林太郎	○○大学農学部教授	30
(1) ○○における△△の確立			
① ○○の解析	○ 農林太郎 林業花子	○○大学農学部教授 (株) △△研究開発部課長	前出 15
② ○○の開発	△ 水産次郎 林業花子	○○県農業試験場△部 (株) △△研究開発部課長	20 前出
(2) ○○の試作	○ 水産次郎	○○県農業試験場△部	前出

(5) 研究者情報

研究総括者の経歴について、「最終学歴」、「学位」、「主な職歴と研究内容」を記載して下さい。

(記入例)	
研究総括者名	○○ ○○
最終学歴	西暦○○年 ○○大学○○学部卒業
学位	西暦○○年 博士号(○○学)取得(○○大学)
主な職歴と研究内容	西暦○○年～○○年 ○○大学○○学部助手 西暦○○年～○○年 ○○大学○○学部 研究員 ○○に関する研究に従事

注：「学位」は、学士・修士・博士のうち、各自最上位の学位を記載して下さい。

「主な職歴と研究内容」は、職歴とこれまでの研究内容や商品・栽培法・品種改良な

どの開発事例を記入して下さい。

また、「(4) 研究分担者一覧」に記載した全ての研究者（研究総括者を含む）について、その順にそって主な研究論文、著書及び特許（品種登録等）を記入例に従い記載して下さい。

記載にあたっては、研究者一人当たり近年の重要なものを、in press のものから過去にさかのぼって、発表の順に最大5つまで記載し、本研究課題に関係の大きいものについては、冒頭に○印をつけて下さい。

雑誌の場合は、タイトル、著者名、学会誌名、巻（号）、ページーページ（西暦）

書籍の場合は、タイトル、著者名、出版社名、発行年（西暦）

特許の場合は、特許名、特許番号、取得又は出願年月日（西暦）の順に記載すること。

なお、民間企業・団体・農林漁業者については、申請課題の研究に関連する資格（例：技術士、獣医師）、受賞歴、開発した製品実績等を記載しても可。

注：論文・著書名の共著欄には全ての共著者を記載する。外国語論文の場合であっても、日本人の共著者については名前を日本語表記とすること。また、本人及び研究分担者にはアンダーラインを付すこと。他の研究分担者の欄で前出された論文には、冒頭に「前出」と記載して下さい。

(記入例)

氏 名	学位	主な論文・著書・特許（近年の重要なものを各自5件以内）
農林太郎 （研究総括者）	博士	<p>&lt;論文&gt;</p> <p>○「○○○に関する研究」、<u>農林太郎</u>、<u>水産次郎</u>、畜産三郎、○○学会誌、1(1)、20-30(2004)</p> <p>○「Development of novel analysis method for ○○○○」<u>農林太郎</u>、<u>Gaikokujin A.</u>、<u>林業花子</u>、<u>Gaikokujin B.</u> <i>Journal of Agriculture</i>, 1(1) 20-30(2004)</p> <p>※外国語論文であっても、日本人の共著者の氏名は日本語表記とすること。</p> <p>&lt;著書&gt;</p> <p>「○○の現状」、<u>農林太郎</u>、○○出版社（2004）</p> <p>&lt;特許&gt;</p> <p>「○○○の製造方法」、特願 2004-12345、出願 2004 年 1 月 10 日</p>
林業花子	修士	特になし
水産次郎	学士	<p>&lt;論文&gt;</p> <p>前出 ○「○○○に関する研究」、<u>農林太郎</u>、<u>水産次郎</u>、畜産三郎、○○学会誌、1(1)、20-30(2004)</p>

6. 「研究費の見込額一覧」について

中核機関及び共同機関ごとに研究終了年度までの研究予算の見込額及びその内訳を記載して下さい。

中核機関にあつては、国からの委託費として①直接経費、②間接経費、③試験研究調査委託費（消費税を含む。）を、共同機関については、中核機関からの試験研究調査委託費として①直接経費、②間接経費（消費税を含む。）を計上できます。

1) 直接経費

機械・備品費、雑役務費については、その品名・仕様、数量、単価、金額を記載して下さい。

2) 間接経費

間接経費については、直接経費の10%に相当する額以上を必ず計上することとし、直接経費の30%に当たる額を上限として計上して下さい。見込額については研究機関の経理部門等と予めよく相談の上計上して下さい。（コーディネート機関も同様とする。）

3) 試験研究調査委託費

参画する全ての共同機関の研究費（直接経費・間接経費）を合計した金額を、中核機関の試験研究調査委託費金額と一致させて下さい。

7. 「目標とする成果」について

(1) 技術開発の目標（数値目標）

めざす技術開発の目標について、数値による目標（リスク管理型は除く）及び目標とする技術開発の内容を記載して下さい。

(記入例)

・数値目標：労働時間を現行技術よりも〇割削減できる〇〇技術の開発

・具体的な技術開発の目標の内容

〇〇の問題解決を図るため、既往の成果である〇〇技術を活用し、〇〇の手法による〇〇な〇〇技術を開発する。

(2) 現場への普及により目指す効果

技術の新規性、農林水産業等現場が求めるニーズへの対応、農林水産省等が実施する取組への貢献等の視点から、目指す普及の効果について記載して下さい。

(記入例)

本研究は、既存技術よりも省力化が図られるこれまでにない技術であるとともに、〇〇地域が抱える〇〇の課題解決に大きく寄与するものであることから、この成果については、〇〇地域の〇〇生産者約〇〇haへの普及を目指すこととする。普及により、地域における〇〇の効果が期待され、生産者1人当たりの〇〇円の所得向上等、全体で〇〇程度の経済効果が期待される。

また、本研究により開発された技術は、農林水産省が実施する〇〇の取組における技術的ツールとしても活用しうるものであり、〇〇への貢献が見込まれる。

8. 「期待される他地域、異分野等への波及効果」について

技術の新規性、農林水産業等現場が求めるニーズへの対応、農林水産省等が実施する取組への貢献等の視点から、7の(2)よりさらに広範囲に見込まれる波及効果について記載して下さい。

(記入例)

〇〇については、普及を目指す〇〇地域だけでなく、〇〇、〇〇、〇〇等の地域においても同様の状況であり、課題解決が求められていることから、本研究で見込まれる成果は、これらの地域への導入も期待できる。

また、本技術は〇〇を活用したものであり、〇〇分野への応用も可能であることから、農林水産省が実施している取組のうち、前述の〇〇だけでなく、〇〇、〇〇及び〇〇に係る取組についても貢献が見込まれる。

以上を踏まえると、当該地域のみへの普及よりもさらに大きい〇〇円程度の波及効果が期待される。

9. 「コーディネート機能の発揮による普及・実用化への道筋」について（地域活性化型研究のうち現場連携支援実用化促進型研究の場合必ず記載）

実用化を促進するに当たり、研究成果の普及・実用化への道筋を特に明確にするとともに、コーディネート機関が果たす役割について、具体的に記載して下さい。また、商品化・実用化を担当する共同研究機関名を必ず記入して下さい。

(記入例)

研究の開始にあたり～～を行い、研究体制の構築を図り、～～により研究成果の普及・実用化を推進するなど、研究計画が目標に向けて円滑に進行出来るよう関係機関間の連絡調整を行う。

共同研究により開発された〇〇技術を活用し、共同研究機関である〇〇会社が、高性能な〇〇装置を開発・商品化する。商品化した装置は、〇年以内に〇〇台普及が見込まれる（根拠も記載）。

10. 「他府省を含む他の競争的資金等の応募・受入状況」について

研究総括者及び研究分担者（共同機関における研究者）に関して、これまでの他の競争的資金制度、プロジェクト研究に関する委託・助成の実績の有無、及び現在の申請の有無について記載し、さらにこれらが「有」の場合はその研究内容（制度名、研究課題名、実施期間、予算額、エフォート及びこれまでの研究成果）を記載して下さい。

「(3) 研究の内容」については、本研究に関連するもののみを記載する3の(2)「成果を上げた研究課題の概要」と異なり、以下の範囲に該当する過去に実施した研究及び現在申請・実施中の研究すべてについて記載して下さい。

	他の競争的資金制度及びプロジェクト研究		
	研究代表者 (研究総括者相当)	研究分担者	記載の対象となる研究
今回応募課題の研究総括者	記載する	記載する	・現在申請中のもの ・現在実施中のもの
今回応募課題の研究分担者	記載する	記載する必要はない	・事業終了年度が2003年～2005年度のもの

((3) の記入例)

○研究総括者名 (所属機関)

1) 実績 1

①研究制度名：○○費 (○○省)

②研究課題名：「・・・に関する研究」

③研究実施期間：1999 年度－2004 年度

④研究費総額：30,000 千円

⑤エフォート：○○%

⑥これまでの研究成果：○○について解明した。

2) 実績 2

3) 申請中 1

○研究分担者名 (所属機関)

#### ○様式 4 (輸出戦略・海外展開計画)

A 4 用紙 2 枚以内で作成して下さい。なお、本計画は関係機関間で調整・検討されたものを記載することとしますが、今後調整・検討される予定である場合、現時点で想定される内容を記載しても構いません。

また、既に類似の計画を策定済みの場合は、その計画の写しを添付すれば、本様式の記載は不要です。

##### 1. 応募する研究タイプについて

輸出促進型、食品産業海外展開型のうち該当する方を○で囲んで下さい。

##### 2. 本計画の対象となる産地・食品業者について

本研究を活用し、輸出促進を目指そうとしている産地及び海外展開を目指そうとしている食品業者名を記載して下さい。産地の広さや食品業者の数は問いません。

##### 3. 本計画の対象となる品目又は食品名について

輸出促進を図る農林水産物や海外展開を図る食品名を記載して下さい。複数ある場合はすべて記載して下さい。

##### 4. 現在の輸出及び食品産業海外展開の状況について

輸出促進型への応募課題にあっては現在の当該品目の輸出量及び輸出額を、食品産業海外展開型への応募課題にあっては現在の当該食品の海外現地での食品販売量及び売上高を記載して下さい。実績がない場合は記載不要です。

##### 5. 本計画で目指す数値目標について

本計画で輸出促進を図ろうとしている相手国・地域や海外展開を図ろうとしている国・地域を記載 (複数あれば全て記載) するとともに、4 と比較できるように、輸出量 (食品販売量) 及び輸出額 (売上高) の目標値を記載して下さい。目標年度は取組主体が定めたもの以外に、輸出促進型にあっては 25 年度、食品産業海外展開型にあっては 22 年度の目標値も併せて記載して下さい。

##### 6 輸出促進及び食品産業の海外展開に当たり障害となっている課題について

5の目標達成に向けて解決すべき課題を記載して下さい。記載する内容は技術開発に係るものに限りません。

(記入例)

〇〇産〇〇の輸出相手国である〇〇国では、現在〇〇な状況であり、〇〇の問題が生じているところ。このため〇〇産〇〇の一層の輸出促進に向けては、〇〇に係る技術開発、高所得者以外も購入できるための低コスト生産、〇〇国以外の新たな販路の拡大等の取組を実施する必要がある。

7. 6の課題の解決に向けて、計画において実施する取組について

6で記載された課題に対応した取組を記載して下さい。(1)～(5)すべての項目に記載する必要はありません。

また、各項目ごとに、取組に参画する機関(研究機関、生産者団体、食品製造・加工業者、行政等)を全て記載して下さい。

(記入例)

(1) 農林水産物又は加工原料の生産段階における取組

参画機関：JA〇〇、〇〇県農業改良普及センター

〇〇生産の低コスト化を図るため、〇〇の取組による経営規模の拡大や〇〇による省力化を図る。

(2) 農林水産物又は加工原料の海外への輸送等流通段階における取組

参画機関：(独)〇〇研究センター、(株)〇〇

輸送コストの削減を図るため、〇〇技術を開発し、活用する。また、〇〇の問題に対応できるよう、〇〇技術を活用した〇〇の鮮度保持技術の開発を行う。

(4) 農林水産物又は食品の販路の創出・拡大に向けた取組

参画機関：(株)〇〇、〇〇大学

現在の輸出相手国である〇〇国の地理、気候、宗教、人口規模、物価等の面で似ている××国を、〇〇産〇〇の新たな輸出候補先として選定し、市場調査等を行い輸出の可能性を探る。

8. 7の取組における本研究課題の位置づけについて

輸出促進または食品産業の海外展開に向けた各取組において、今回応募された研究がどのように関連するのか記載して下さい。

(記入例)

今回提案する〇〇技術の開発は、7で述べた取組のうちの「〇〇」に対応するものであり、〇〇の取組に必要な技術として開発するものである。

## ○補足資料

民間企業、公益法人、NPO法人、協同組合が中核機関又は共同機関として参画している場合には、①又は②の該当するものを補足資料として下さい。この場合、決算報告書(連結決算でよい)には、貸借対照表、損益計算書を含めて下さい。

### ①民間企業の場合

- 経歴書（経歴が確認できる会社案内等も可）
- 最新の決算（営業）報告書（又はそれに準じるもの）
- ②公益法人、NPO法人又は協同組合の場合
  - 定款又は寄付行為
  - 最新の決算（営業）報告書1年分（又はそれに準じるもの）

(別紙)

1. 応募課題の研究対象として最も適合するキーワードを中分類または小分類の中から1つ選んで下さい。対象Aは、主要一次生産物、対象Bはその他二次生産物等。

分野	中分類キーワード	分類番号	小分類キーワード
<b>研究対象A</b>			
農業	食用作物	101	イネ、ムギ類、豆類、イモ類、雑穀
	工芸作物	102	茶、イグサ、タバコ、トウモロコシ、製糖用作物（サトウキビ、テンサイ）、油糧作物
	飼料作物	103	牧草、桑
	園芸作物	104	野菜（果菜、葉菜、根菜、花菜）、果樹（落葉果樹、常緑果樹、熱帯果樹）、花（切り花、鉢花・苗物）、緑化植物（景観植物、観賞樹・花木、芝）
養蚕業	蚕	105	蚕
畜産業	家畜、家禽	106	牛（肉用、酪農）、豚、鶏（食用、採卵）
林業	森林木、竹	107	針葉樹、広葉樹、竹
	きのこ	108	きのこ
	野生動植物	109	野生植物資源、森林動物
水産業	水産生物	110	魚、貝、イカ・タコ、海藻、甲殻類、プランクトン、海獣
<b>研究対象B</b>			
共通分野	有用生物	201	有用昆虫、有用微生物、有用植物（薬用植物）
	有害生物	202	植物病（ウイルス・ウイロイド、細菌・ファイトプラズマ、糸状菌）、害虫、線虫、家畜疾病、魚介類疾病、雑草、有毒植物、有害動物
	食品	203	農産物食品、畜産物食品、林産物食品、水産物食品
	木材加工	204	木材加工
	バイオマス	205	バイオマス
	人	206	人
	地域	207	農地、山林、河川、海洋、湖沼、農山漁村、居住地
	生産設備	208	インフラ（産業基盤、水路、農道）、ダム・貯水池、のり面、生産施設、農業用施設
	経営	209	経営
	産業創出	210	新産業創出、輸出促進、マーケティング

2. 応募課題の研究内容・手法として最も適合するキーワードを中分類または小分類の中から1～3つ選んで下さい。

分野・手法	中分類キーワード	分類番号	小分類キーワード
<b>C 研究内容</b>			
研究分野(共通)	健康	301	機能性成分、機能性食品、食育、人畜・獣共通感染症（鳥インフルエンザ、BSE）、アレルギー（食物アレルギー、花粉症）、快適性、園芸療法
	安全	302	食品衛生（食中毒菌、カビ毒、加熱生成有害物質、HACCP）、有害物質（重金属、有害ガス、内分泌攪乱化学物質、食品添加物）、農薬環境（農薬、ドリフト）、環境修復（バイオレメディエーション）、植物防疫、リスク管理（リスク評価）
	環境	303	地球温暖化、環境変動、水圏環境保全、土壌環境保全、大気環境保全、水質保全、生態保全（在来生物保全、外来生物）、環境保全システム（環境保全技術、環境保全装置・機器）、地形、地質、水文、気象
	災害	304	防災（国土保全、農地保全、海岸保全、治山・砂防）、危機管理、気象災害、災害復興
	資源利用	305	資源循環（資源探査、資源評価）、バイオ燃料、代替エネルギー
	生産システム	306	生産施設（温室ハウス植物工場、厩舎、漁船、養魚施設）、装置・システム化（ロボット）、計測制御システム（環境、生長、生体情報計測・制御）、情報処理システム（精密農業、生育予測、リモートセンシング）、養水分管理システム（養液栽培、養液土耕、灌水システム）、自動給餌・飼育管理システム
	機械	307	機械、機械化作業技術、農作業用機械

分野・手法	中分類キーワード	分類番号	小分類キーワード
研究分野（農業）	育種	401	病害抵抗性育種、虫害抵抗性育種、環境耐性育種、高品質育種（新形質導入）、有用物質生産能付与育種
	判別	402	品種判別、生産地判別
	植物繁殖	403	採種、クローン植物
	生育開花調節	404	生育環境、生育調節、開花調節、収穫期調節、植物成長調節剤、生理障害
	土壌	405	土壌理化学性改善（地力評価）、土壌微生物
	肥料	406	化学肥料、有機質肥料
	堆肥	407	家畜排泄物堆肥（成分調整堆肥）、都市食品廃棄物堆肥（都市廃棄物堆肥）
	肥培管理	408	植物栄養（栄養診断）、施肥法（減化学肥料）
	生産技術	409	低コスト、安定（気象災害回避、環境変動対応、多収）、高品質、省エネルギー（脱石油）、省力、軽労化、環境保全型農業、有機農業、作業体系、新規生産技術、農法、ほ場整備、水田かんがい、畑地かんがい
	雑草管理	410	雑草防除（除草剤、生物的防除法）、畦畔管理（カバー植物）
	植物病害防除	411	病害診断、病害発生生態（病害発生予察）、感染生理、病害防除（病害農薬 病害病原微生物）
植物害虫防除	412	害虫診断、害虫発生生態（害虫発生予察）、感染生理、害虫防除（害虫農薬、害虫病原微生物）、環境保全型害虫防除	
研究分野（畜産）	畜産・草地	501	草地利用・管理（飼料生産）、家畜飼料（飼料栄養、機能性飼料）、家畜飼養（精密栄養管理）、家畜管理
	育種・繁殖	502	育種、家畜繁殖（繁殖障害、クローン動物）
	家畜衛生	503	家畜疾病（病理、感染生理、病態、疾病予防、疾病治療）、家畜衛生（動物防疫）
	動物福祉・公害	504	動物福祉、畜産公害
研究分野（林業）	森林環境	601	森林管理（林業機械）、森林環境（生態）、森林機能、森林風致・利用（景観）、森林生物、鳥獣害、都市緑化（造園）
	林産・木質	602	材質・物性、木材加工（木材接着）、木材構造物、林産物利用
研究分野（水産業）	水産業	701	生理・生態、漁具・漁法、資源、漁海況、増養殖（飼料、飼育システム、魚礁）、疾病（病理、感染生理、病態、予防、治療）、水産有害生物防除、漁港、漁村
研究分野（流通食品加工等）	品質	801	花色・葉色、香り、食味、食感、流通適性（日持ち性）、加工適正（調理適性）
	品質管理（生鮮）	802	品質評価システム、品質保持技術（貯蔵技術、輸送技術、包装資材）、衛生管理
	食品保存	803	保存施設、微生物制御技術、天然抗菌物質
	食品栄養	804	栄養成分（栄養価）
	食品製造加工	805	高品質食品開発、新機能食品開発、乳製品、醸造・発酵、漬け物類
	昆虫（養蚕）	806	機能性繊維、昆虫飼養（代替飼料）、昆虫疾病、新資材生産
	流通技術	807	流通システム、生産流通情報（トレーサビリティ、GAP）、マーケティング、農林水産物輸出
	経営・経済	808	地域活性化（地域ブランド、地産地消）、営農システム、農村計画、農政
<b>D 研究手法</b>			
研究手法	生化学	901	代謝生理（生理活性物質）
	遺伝子	902	遺伝子解析、診断、発現、機能
	育種・育種手法	903	育種一般、遺伝資源、突然変異育種（イオンビーム育種、放射線育種）、DNAマーカー育種、遺伝子組み換え育種
	解析・情報	904	数値解析、情報処理